

佐女牛の井は醒井五条の南にあり。井筒に銘あり。

佐女牛井

元和二年有楽再建之

足利將軍公義政公茶道に籠せらるるとき、此水を愛し給ふとなり。今は用る人もなく、草茂り苔深く井筒も埋みかくる。されども泉はむかしにかはらず湧き出る也。李白が諺に、「石甃蒼苔を冷やし 寒泉月明を湛ふ」これらの清泉をいふなるべし。